

## 普及活動情勢報告（令和6年9月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

### いの町沖田地区での集落営農組織設立を目指して ～佐川町の農事組合法人の飼料米栽培状況視察～



8月6日、いの町沖田地区集落営農発起人会6名と関係機関3名が佐川町の農事組合法人の飼料米栽培状況等を視察しました。農業改良普及課は、佐川町集落営農法人組織の紹介や視察の目的を説明しました。参加者からは、「飼料米の出荷先はどこですか」「色彩選別が不要な事は初めて知った」「交付金単価はどのくらい」等質問や意見が出されました。視察を実施したことで、集落営農組織としての栽培品目を検討するきっかけとなりました。農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して集落営農組織設立に向けて支援します。

### 令和6園芸年度の締めくくり！ ～JA高知県新居支所ズッキーニ部会 総会～



9月4日、土佐市新居地区のズッキーニ部会員8名と関係機関3名が参加し、総会が開催されました。農業改良普及課は、令和6園芸年度の気象条件と出荷量の推移を説明したほか、梅雨時期に発生した果実の腐敗対策について指導しました。生産者からは、「夏の暑さがひどくなり、どんどん栽培期間が短くなっている」等の意見があり、気象条件が厳しくなっているとの認識が強いことが改めて分かりました。農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して新居地区のズッキーニの栽培技術向上のために支援します。

### 放置竹林を有効活用！生姜農家のコスト軽減を目指して ～いの町生姜生産研究会立ち上げ～



9月5日、生産者4名を含む関係者16名で、いの町生姜生産研究会を立ち上げました。現在、肥料やケイントップといった被覆資材代が高騰する中、いの町では放置竹林が散見されています。そのような中、生姜生産者から未活用の竹材をたい肥や被覆資材として活用できないかといった声があがり、現実性のある検討と検証をおこなうために本会が設立されました。第1回目の会議では今後のスケジュールが共有され、生産者からもたい肥づくりにあたり、適正な水分量や必要な資材についてなど様々な意見が出されました。今後も関係者と話し合いをおこない、被覆資材は令和7年産に、たい肥は令和8年産に試験運用ができるよう取り組んでいきます。